

# 市長の令和2年度施政方針

令和2年度の施政方針演説  
みんなが住み続けたいと  
思えるまちの実現

上村 崇 市長



4月からスタートする「第4次総合計画まちづくりプラン」に基づいて、次の「5つの重点プロジェクト」を進めます。

第1に、待機児童対策や中学校完全給食の早期実現など、「生み育てる喜びが感じられる子育て支援と人づくり」です。

第2に、市民、地域、事業者とともに、防災・減災や防犯対策を推進するなど、「市民協働による安全・安心な地域のまちづくり」です。

第3に、高齢者の社会参加と生きがいづくりなど、「だれもが安心して暮らし続けられる支え合いづくり」です。

第4に、企業立地のための基盤整備の促進や起業家の支援など、「まちの利点を生かした産業振興と未来への基盤づくり」です。

第5に、緑あふれるまちと魅力ある中心市街地の整備促進、持続可能な農業の創造など、「時代の変化に対応した新たな都市づくり」です。

また、デジタル化を推進し、開かれた行政、市民と未来を創る「市民役所」を推進します。市民が積極的に参画できる市政運営と、情報発信の充実に努めることも、効率的でスピーディーな行政運営ができるようICTやAIなどの最新

技術を活用し、住民サービスと住民福祉の向上に努めます。

市政協働員制度が廃止になるなか、行政と区・自治会が協働していくための仕組みづくりを行い、区・自治会の運営強化や連携を支援することも

に、同志社との連携も、大学と市との交流から、市民が大学があるまち」を実感できる交流へと発展させていきます。

また、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、企業版ふるさと納税制度を活用した地方創生事業の推進など、企業連携による取り組みを進めます。

第4次総合計画の基本姿勢「魅力発信」に加え、令和元年8月に開催した高校生・大学生ワークショップでも「京田辺の映(は)え」スポットの発信が必要」という意見を踏まえ、計画に描かれた夢ある将来のまちの姿や魅力を共有できるよう、プロモーション動画を作成いたします。

また、効率的な行政運営を目指し、保育所入所業務にAI選考システムを導入します。

そして、施策事業推進のためには、そのエンジンとなる市役所機能を向上させ、刻々と変化する京田辺のまちづくりを築きながら取り組む、ワンチームとなった組織と人材を育成します。

また、効率的な行政運営ができるようICTやAIなどの最新

例年、市長の施政方針に対し、各党派から代表質問がされますが、今回の定例会は新型コロナウイルス対策により、すべての通告が取り下げられ、取りやめとなりました。また、一般質問も同様に取りやめとなりました。

## 主要な施策

### 5つの柱でまちづくり

## 京田辺市

KYOTANABE CITY <便利でええやん!京田辺>

～安全で心安らぐ優しいまち～

地震ハザードマップ改定事業:561万円  
NET119緊急通報システム導入事業:446万円  
園児等交通安全対策事業:800万円 など

～緑に包まれた美しいまち～

水辺の散策路環境整備事業:1030万円  
COOL CHOICE普及啓発事業:497万円  
田辺公園拡張整備事業:4800万円 など

～活力にみちた便利で快適なまち～

都市計画マスタープラン改定事業:800万円  
田辺中央北地区新市街地整備促進事業:2500万円  
新田辺駅東地区まちづくり促進事業:1400万円 など

～子育てしやすく未来を育む文化薫るまち～

(仮称)大住こども園等新築工事設計監理事業:1720万円  
南部民間保育所等施設整備費補助事業:2億7581万円  
田辺中央体育館空調機器設置事業:2億4992万円 など

～いきいき健康で明るいまち～

健康増進計画・食育推進計画策定事業:365万円  
障がい者基幹相談支援センター事業:493万円  
高齢者保健介護予防事業:552万円 など